

第2回協議会資料

名護市地域公共交通計画策定の骨子（案）

2021年8月31日
名護市

1. 計画策定の目的

- ✓ 名護市では、平成29年度から令和2年度まで基礎調査や各種実証実験を実施。
- ✓ 今年度は、まちづくり等の地域戦略と一体となった、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするため、マスタープランとなる地域公共交通計画を作成。

公共交通のあり方に関する基礎調査の実施

(名護市地域公共交通基礎調査業務(平成29年度))

＜目的及び内容＞市民や地域ニーズ等も踏まえた公共交通の課題を明確にするとともに、市内の地域間格差や中心市街地衰退などのまちづくりに関する課題への対応も踏まえた、名護市の将来像実現に寄与する、市民が使いやすい公共交通体系のあり方の検討のための、地域公共交通の現状と課題の把握。

＜市中心部以外＞

令和元年度

名護市地域公共交通実証実験事業

＜目的＞

- ・名護市久志地区二見以北地域における地域住民及び来訪者等、滞在者の公共交通の利便性を確保するための実証実験を実施。なお、コミュニティバスについては、路線バス空白時間を補完するダイヤを設定し、実施。

＜市中心部＞

令和2年度

名護市街地コミュニティバス導入事業

＜目的＞

- ・名護市街地及び市街地近隣の地域住民や来訪者等の公共交通の利便性を確保し、公共交通に対するニーズを調査するため、コミュニティバスの実証運行を実施。

＜実証から明らかとなった課題＞

- コミュニティバス：停車地として選定したものの、利用者が少ない個所や、運行ルートに含んでいない施設へのアクセスを希望する意見があったことから、運行ルート・ダイヤの見直しが必要。
- デマンド交通：地区内の移動需要が少なく、運用方法の見直しと、利用方法について周知が不十分であった。

- 路線バスとの乗り換え利用が少なく、乗り換え環境の構築が必要。
- 名護市街地周辺エリアに存在する施設等へのアクセスの向上と公共交通空白地の解消に伴う運行エリアの拡大。
- 周知不足に対する周知方法の工夫が必要。
- 観光客が利用しやすい運行ルートの検討。

令和3年度

名護市地域公共交通計画策定

2. 過年度の検討概要

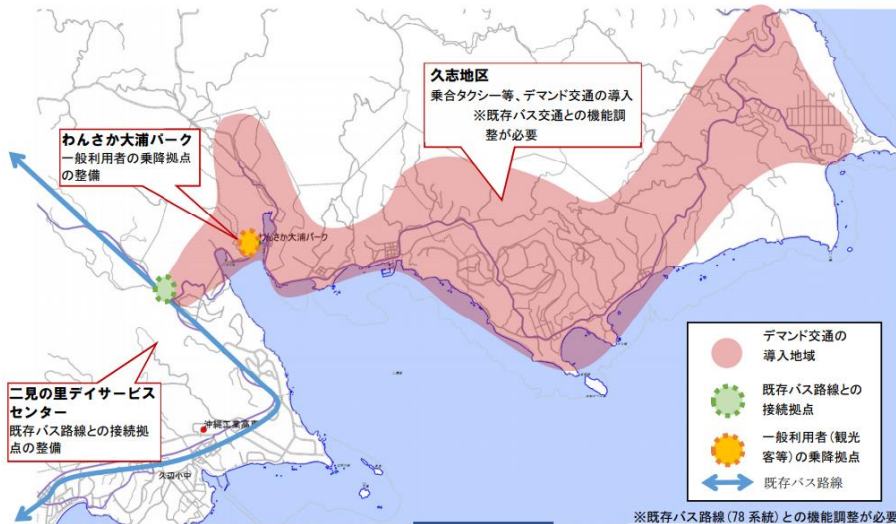
✓ 名護市地域公共交通基礎調査業務（平成29年度）

■ 調査概要

- ✓ 名護市の現状整理や市民アンケート、区長アンケート、施設ヒアリング等調査を実施し、名護市における新たな公共交通システムの検討を実施。
- ✓ 調査の結果、市中心部では新たな公共交通システムとして「**中心部循環バス**」の導入、市中心部以外では「**デマンド交通**」の導入の必要性を提示。

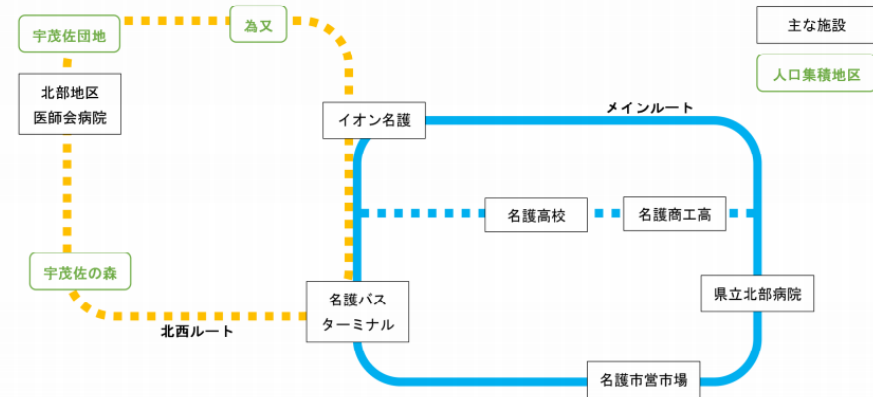
平成29年度調査における 新たな公共交通システムの導入イメージ

<市中心部以外>



令和元年度名護市地域
公共交通実証実験事業

<市中心部>



令和2年度名護市街地
コミュニティバス導入事業

2. 過年度の検討概要

✓ 名護市地域公共交通実証実験事業（令和元年度）

■ 実証実験の概要

- ✓ 高齢化が進んでおり、地域を走る路線バスの運行頻度が低い等の理由から、現状バス利用が少ない**二見以北地域**において、新たな公共交通として**コミュニティバス及びデマンド交通の実証実験**を実施。
- ✓ コミュニティバスは1日最大で20人、デマンド交通は1日最大34人が利用しており、どちらも利用者数の確保に一定の課題が見られるものの、周辺地域における交通手段として一定のニーズがあることを確認した。

実証実験の概要

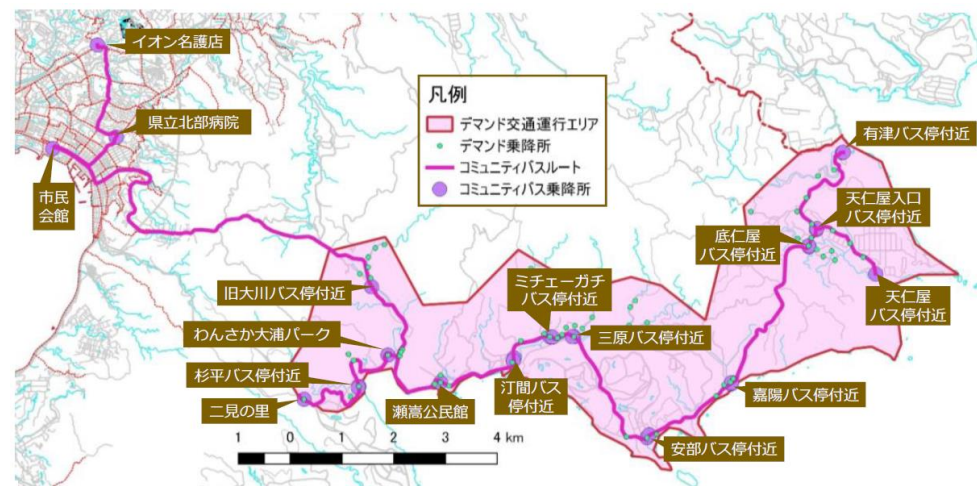
コミュニティバスの内容

実施期間	令和2年2月7日～3月18日
運賃	無償
運行時間	9時～19時26分（1日3便）
利用者数	累計285人（1日平均7.5人）

デマンド交通の内容

実施期間	令和2年2月14日～3月18日
運賃	無償
運行時間	9時～17時（午前2台・午後1台運行）
利用者数	累計64人（1日平均2.1人）

コミュニティバス・デマンド交通の運行ルート



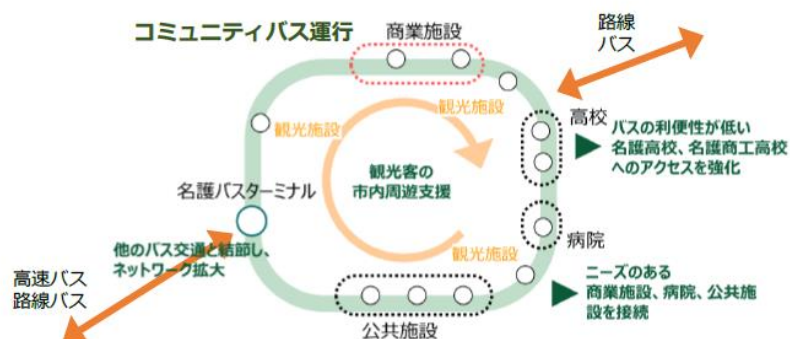
2. 過年度の検討概要

✓ 名護市街地コミュニティバス導入事業（令和2年度）

■ 実証実験の概要

- ✓ 名護市中心部の公共交通空白地の解消及びアクセス性向上等のため、令和2年度に市街地コミュニティバスの実証実験を実施。
- ✓ 最大1日325名の方が利用しており、アンケートの回答結果では約7割が「満足・やや満足」と回答する等、名護市中心部への新たな公共交通の導入に関して、一定の必要性があること等を確認。

運行のコンセプト

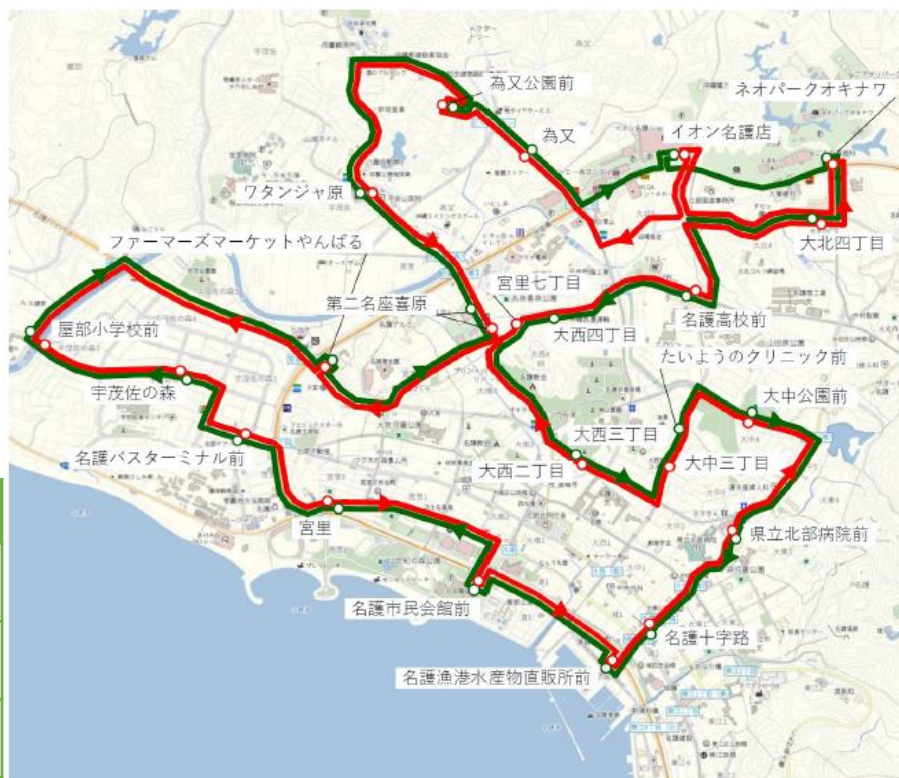


実証実験の概要

内容

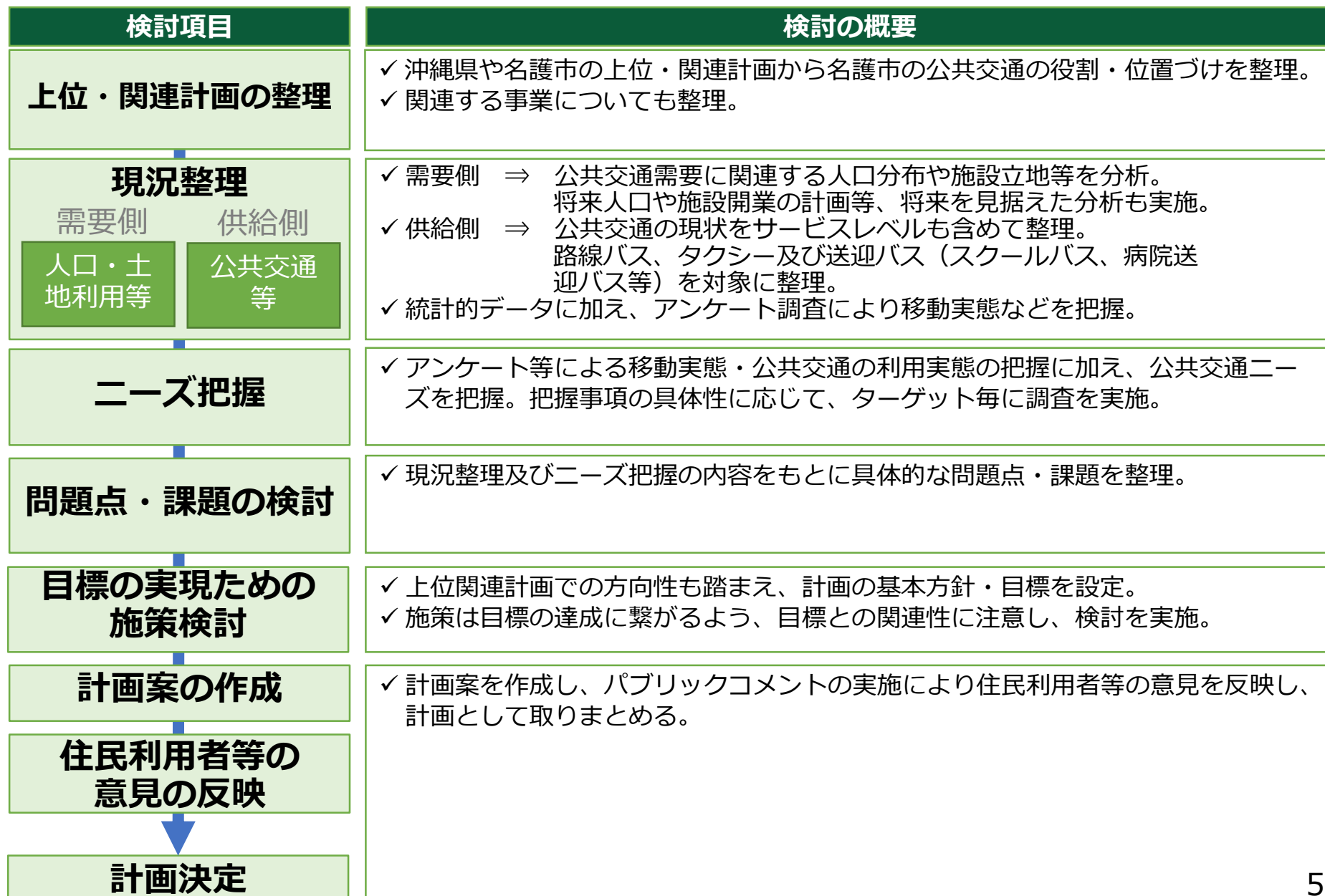
実施期間	令和2年12月1日～令和3年2月28日
運賃	無償
運行時間	7時頃～20時頃（両方向・1時間1便）
利用者数	累計10,855人（1日平均120.6人）

運行ルート



3. 地域公共交通計画策定の作業イメージ

✓ 地域公共交通計画策定は以下の流れで実施。



3. 地域公共交通計画策定の作業イメージ

■上位・関連計画の整理

- ✓ 沖縄県や名護市の上位・関連計画から名護市の公共交通の役割・位置づけを整理。
- ✓ 上位・関連計画以外で関連する事業についても整理。

検討項目

検討イメージ

上位・関連計画
の整理

現況整理

ニーズ把握

問題点・課題
の検討

目標実現の
ための
施策検討

計画案の作成

住民利用者等
の意見の反映

計画決定

【名護市 上位計画】

○第5次名護市総合計画（令和2年3月策定）

○名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略（平成28年3月策定）
○名護市都市計画マスタープラン（平成18年8月策定）※改定中

【沖縄県 上位計画】

○沖縄21世紀ビジョン（平成22年3月策定）

○名護都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（平成29年6月策定）
○沖縄県総合交通体系基本計画（平成24年6月策定）

【関連計画】

・名護市地球温暖化対策実行計画
・名護市第4次地域保健福祉計画
・第2次名護市観光振興基本計画
・名護湾沿岸基本構想、
名護湾沿岸基本計画
・北部地域交通体系基本計画

整合

【今回策定する計画】

名護市地域
公共交通計画

【関連法令】

・交通政策基本法（平成25年12月）
・都市再生特別措置法（平成14年6月）
・地域公共交通の活性化及び再生に
関する法律（平成19年10月）

【その他関連する事業】

上位・関連計画と名護市地域公共交通計画の位置づけ整理イメージ

3. 地域公共交通計画策定の作業イメージ

■ 現況整理

- ✓ 公共交通需要に関連する**人口分布や施設立地等**の現況の把握、**将来人口や施設開業の計画等**、将来を見据えた集計分析も実施。
- ✓ サービスレベル等を含めた公共交通の利用実態の整理、**バス、タクシー及び送迎バス（スクールバス、病院送迎バス等）を対象**に整理、統計的データに加え、**アンケート調査等**により移動実態などを把握。

検討項目

検討イメージ

上位・関連計画
の整理

現況整理

ニーズ把握

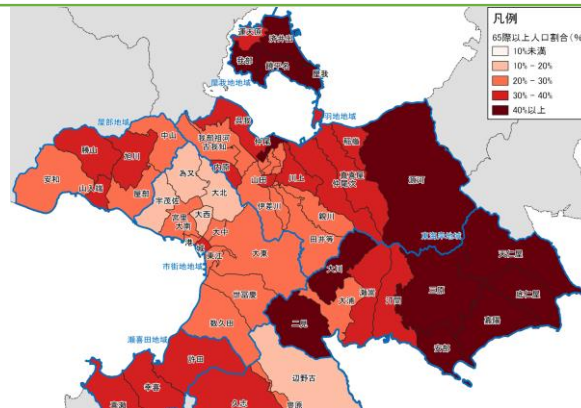
問題点・課題
の検討

目標実現の
ための
施策検討

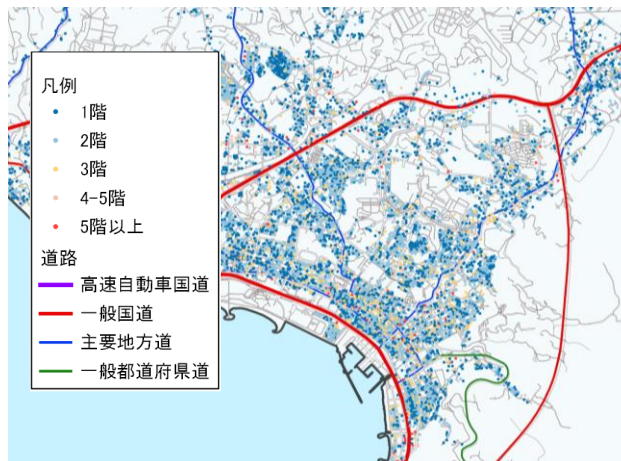
計画案の作成

住民利用者等
の意見の反映

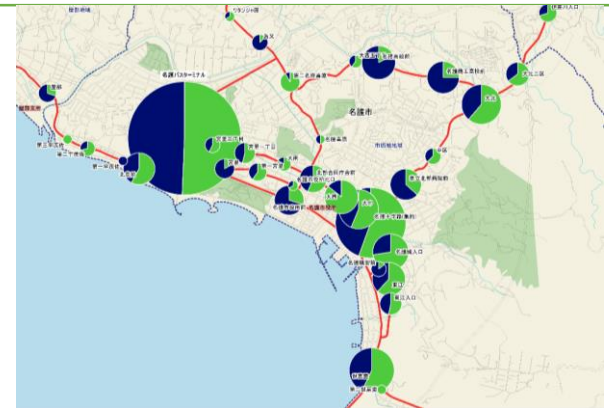
計画決定



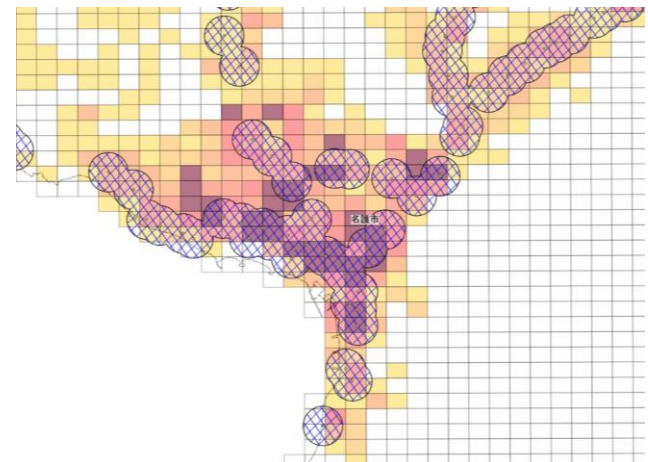
高齢者率



建物現況



バス乗降客数



公共交通人口カバー率

3. 地域公共交通計画策定の作業イメージ

■ ニーズ把握

- ✓ 名護市民の移動や公共交通の利用実態等、統計的なデータでは把握しにくい情報を各種主体に対するアンケートやヒアリング調査により把握。
- ✓ 公共交通サービスに対する重要度や公共交通施策そのもののニーズを把握。

検討項目

上位・関連計画
の整理

現況整理

ニーズ把握

問題点・課題
の検討

目標実現の
ための
施策検討

計画案の作成

住民利用者等
の意見の反映

計画決定

検討イメージ

<把握項目>

移動実態（目的別）

パーソントリップ調査等の分析に加え、具体的な名護市内における移動実態を把握

公共交通の利用実態

統計的なデータの分析では難しい、名護市内の公共交通の利用実態を把握

地域における移動課題

定性的な移動課題を把握

公共交通への要望 （ニーズ）

定性的な公共交通ニーズを把握

<調査方法>

市民アンケート
（18歳以上、学生）

路線バス利用者
アンケート

区長アンケート
・ヒアリング調査

事業者、団体アンケート・
ヒアリング調査

3. 地域公共交通計画策定の作業イメージ

■ 問題点・課題の検討

- ✓ 現況整理やニーズ把握の内容、上位・関連計画の方向性、周辺環境の変化を踏まえ、名護市内における問題点や課題を体系的に整理。

検討項目

上位・関連計画
の整理

現況整理

ニーズ把握

問題点・課題
の検討

目標実現の
ための
施策検討

計画案の作成

住民利用者等
の意見の反映

計画決定

検討イメージ

名護市の現状
(現況整理)

公共交通
ニーズ

上位関連計
画における
方向性

周辺環境の
変化

問題点・課題の
体系化

検討フロー

【地域公共交通に関する課題の体系整理イメージ】

整理イメージ

名護市の現状

公共交通ニーズ

名護市の現状と公共交通ニーズ

【人口・土地利用・移動実態】

- ・特に郊外部における高い高齢化率
- ・市街地地域に都市機能（企業・商業・医療）が集積、国道58号名護バイパスの沿道に商業施設等が立地
- ・学生の通学時には自動車による送迎が多いが、市外からのバス利用も見られる

【観光】

- ・沖縄本島への来訪者はレンタカー利用が多く（約6割）、名護市は通過が多い
- ・市内観光地を周遊する手段がない

【公共交通】

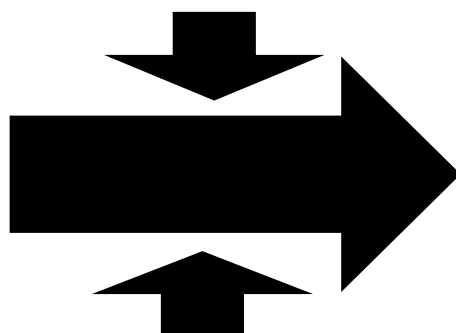
- ・運行サービスが低い地域や、市街地地域、郊外部にて公共交通不便地域が存在
- ・交通拠点である名護バスターミナルが中心部から少し離れた位置に立地
- ・路線バスの運行補助が年々増加
- ・スクールバス、医療送迎バスが運行

【ニーズ】

- ・イオン等商業施設へのアクセス要望
- ・郊外部等での運行本数のサービス向上（運行頻度等）への要望
- ・公共交通不便地域における公共交通に対する要望
- ・乗り継ぎ等での公共利用の実態がない
- ・路線バスの利用率が低い

上位・関連計画の方向性

- ・第5次名護市総合計画
- ・沖縄21世紀ビジョン
- ・名護市地球温暖化対策実行計画
- ・第2次名護市観光振興基本計画
- ・名護湾沿岸基本構想・計画
- ・やんばる交通連携計画 等



周辺環境の変化

- ・名護東道路開通・延伸構想
- ・北部テーマパーク事業
- ・沖縄島北部やんばるの世界遺産登録

地域公共交通に関する課題

課題①：高齢者・学生等への移動サービスの不足

- ・増加が見込まれる高齢者、高校生等への通学時の移動手段の提供、交通不便地域の解消が必要
- ⇒コミュニティバス運行、デマンド交通導入等

課題②：主要な施設にアクセスできる公共交通がない

- ⇒主要施設にアクセスできるコミュニティバス運行

課題③：公共交通による観光周遊が困難

- ・観光周遊に利用できる公共交通サービスの提供が必要
- ⇒観光地にアクセスできるコミュニティバス運行、MaaSなど

課題④：乗り継ぎ等の環境の欠如

- ・高速バスと路線バス間の乗り継ぎ利用、路線バスと連携した移動手段の提供、情報連携が必要
- ⇒シェアサイクル等ラストワンマイルの移動手段、MaaS、バスロケ など

課題⑤：公共交通の公的負担の増加

- ・運営補助の削減による持続可能な公共交通
- ・カーボンニュートラルの実現に向けた環境負荷の少ない移動手段
- ・スクールバス、医療送迎バスとの連携・効率化
- ⇒バス路線、公共交通再編

課題⑥：公共交通に対する低い認知度

- ・公共交通利用に対する意識を改善する必要
- ⇒モビリティマネジメントなど

3. 地域公共交通計画策定の作業イメージ

■ 目標の実現のための施策の検討

- ✓ 各問題点、課題に加え、上位・関連計画で示されている地域交通の方向性や、名護市を取り巻く将来の環境の変化を踏まえて、**計画の基本方針及び目標**を設定。
- ✓ 名護市の地域公共交通をより良くするために実施する施策は、**目標に紐づく形で施策メニュー**を検討。
- ✓ 施策は、実施時期や効果の発現時期などを踏まえて、**短期・中長期等の時間軸**別で整理。

検討項目

検討イメージ

上位・関連計画
の整理

現況整理

二一ズ把握

問題点・課題
の検討

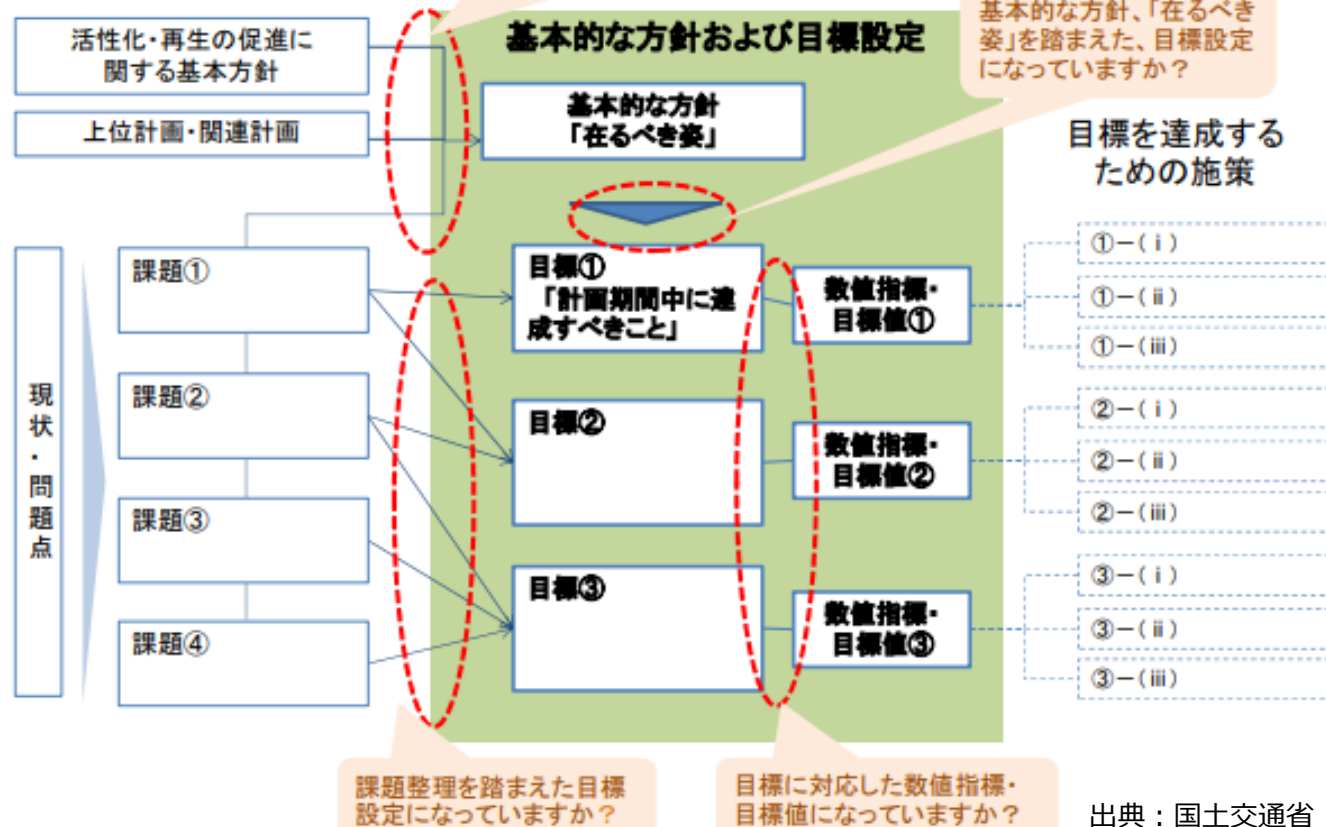
目標実現の
ための
施策検討

計画案の作成

住民利用者等
の意見の反映

計画決定

課題を踏まえた目標設定・施策の設定イメージ



【目標設定・施策整理のイメージ】

整理イメージ

上位計画

＜あるべき姿＞

名護市民が暮らしやすいまちづくりの実現・やんば
る観光の拠点として公共交通の利便性を確保

地域公共交通に関 する課題

課題①：高齢者・学
生等への移動サー
ビスの不足

課題②：主要な施設
にアクセスできる公
共交通がない

課題③：公共交通に
よる観光周遊が困難

課題④：乗り継ぎ等
の環境の欠如

課題⑤：公共交通の
公的負担の増加

課題⑥：公共交通に
対する低い認知度

目標①
高齢者、学生等の
交通弱者の移動手段
の確保

数値指標①
公共交通人口
カバー率

目標②
北部の玄関口として
の観光周遊可能な移
動手段の提供

数値指標②
観光客の公共
交通利用率

目標③
持続可能な
地域公共交通

数値指標③
公共交通の
公的補助額

目標を達成するための施策

公共交通ネットワーク再編

短期・
中長期

市街地コミュニティバス運行
（有償）

短期

デマンドタクシー運行/タクシー
チケットの発行

短期

観光周遊バスの運行

短期・
中長期

観光周遊二次交通導入
（カーシェア、シェアサイクル）

短期

観光MaaSの導入

短期

名護漁港への
交通結節点整備

短期・
中長期

通院バス・スクールバス・学生
送迎バスとの連携・再編

短期

モビリティマネジメントの実施

短期

3. 地域公共交通計画策定の作業イメージ

■ 目標の実現のための施策の検討

✓ 施策の評価を行うタイミング等、スケジュールの整理を実施。

検討項目

検討イメージ

上位・関連計画
の整理

現況整理

ニーズ把握

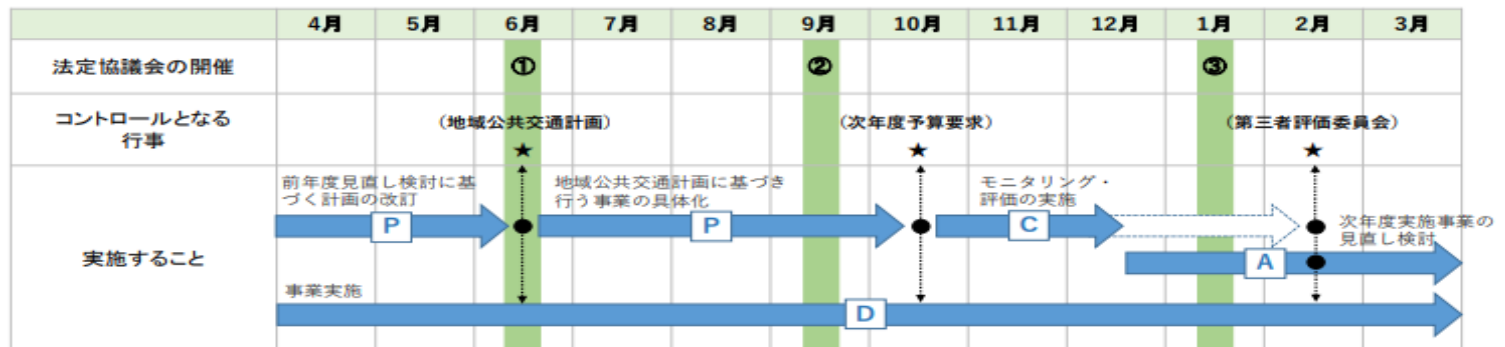
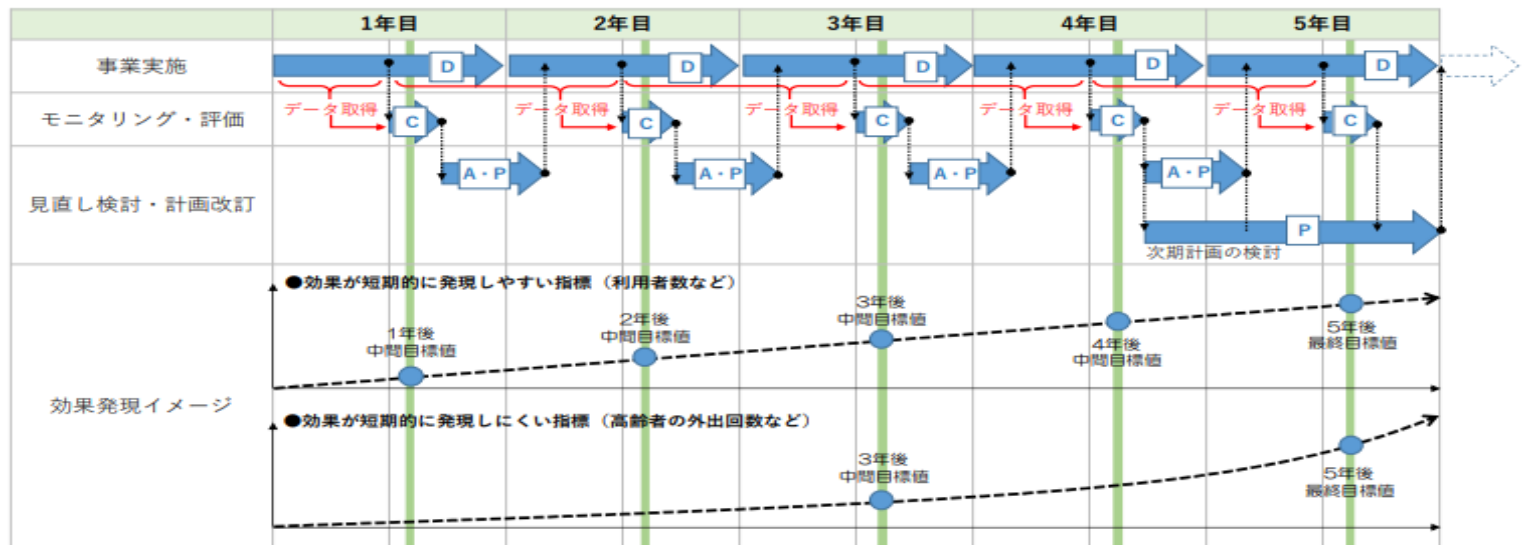
問題点・課題
の検討

目標の実現の
ための
施策の検討

計画案の作成

住民利用者等
の意見の反映

計画決定



評価スケジュールの整理イメージ

3. 地域公共交通計画策定の作業イメージ

■ 計画案の作成～住民利用者等の意見の反映～計画決定

- ✓ 具体的な施策の設定や進捗管理の整理をもって、地域公共交通計画案を作成。
- ✓ **パブリックコメント等を実施**し、住民利用者等の意見を反映。
- ✓ 意見を踏まえ、計画の最終調整を行い、計画を決定。

検討項目

検討イメージ

上位・関連計画
の整理

現況整理

ニーズ把握

問題点・課題
の検討

目標の実現の
ための
施策の検討

計画案の作成

住民利用者等
の意見の反映

計画決定

協議会

議題

第3回協議会
(令和3年10月下旬予定)

- ① ニーズ調査結果の報告、問題点・課題の検討手法について
- ② アンケート・ヒアリング調査の実施状況について

第4回協議会
(令和3年12月下旬予定)

- ① 問題点、課題の検討結果
- ② 目標実現のための施策について
- ③ パブリックコメントの実施方法について

第5回協議会
(令和4年2月下旬予定)

- ① パブリックコメントの結果報告
- ② 名護市地域公共交通計画（案）について